



各位

会社名 株式会社 井筒屋
 代表者名 代表取締役 影山 英雄
 (コード番号 8260 東証1部 福証)
 問合せ先 経理・財務グループ長 細迫 有文
 (TEL 093-522-3414)

(訂正)「平成28年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成28年4月13日に公表いたしました「平成28年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容において一部訂正がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は下線にて表示しております。

記

1. 訂正の内容

21ページ「4 連結財務諸表 (7) 連結財務諸表に関する注記事項 セグメント情報等」

(訂正前)

当連結会計年度(自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額(注)3
	百貨店業	友の会事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	82,947	—	82,947	—	82,947	—	82,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	619	629	—	629	△ 629	—
計	82,958	619	83,577	—	83,577	△ 629	82,947
セグメント利益 又は損失(△)	2,204	△ 33	2,171	—	2,171	△ 178	1,993
セグメント資産	59,532	7,694	67,227	819	68,046	△ 7,089	60,956
その他の項目							
減価償却費	<u>1,573</u>	0	<u>1,574</u>	—	<u>1,574</u>	—	<u>1,574</u>
減損損失	31	—	31	—	31	—	31
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	819	819	—	819
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	798	—	798	—	798	—	798

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△178百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額△7,089百万円は、セグメント間相殺消去であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 減価償却費は、長期前払費用の償却額を含んでおります。

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額(注)3
	百貨店業	友の会事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	82,947	—	82,947	—	82,947	—	82,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	619	629	—	629	△ 629	—
計	82,958	619	83,577	—	83,577	△ 629	82,947
セグメント利益 又は損失(△)	2,204	△ 33	2,171	—	2,171	△ 178	1,993
セグメント資産	59,532	7,694	67,227	819	68,046	△ 7,089	60,956
その他の項目							
減価償却費	<u>1,698</u>	0	<u>1,698</u>	—	<u>1,698</u>	—	<u>1,698</u>
減損損失	31	—	31	—	31	—	31
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	819	819	—	819
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	798	—	798	—	798	—	798

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△178百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額△7,089百万円は、セグメント間相殺消去であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 減価償却費は、長期前払費用の償却額を含んでおります。

2. 訂正の理由

「平成28年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に記載に誤りがあることが判明しましたので、訂正いたします。

以上